

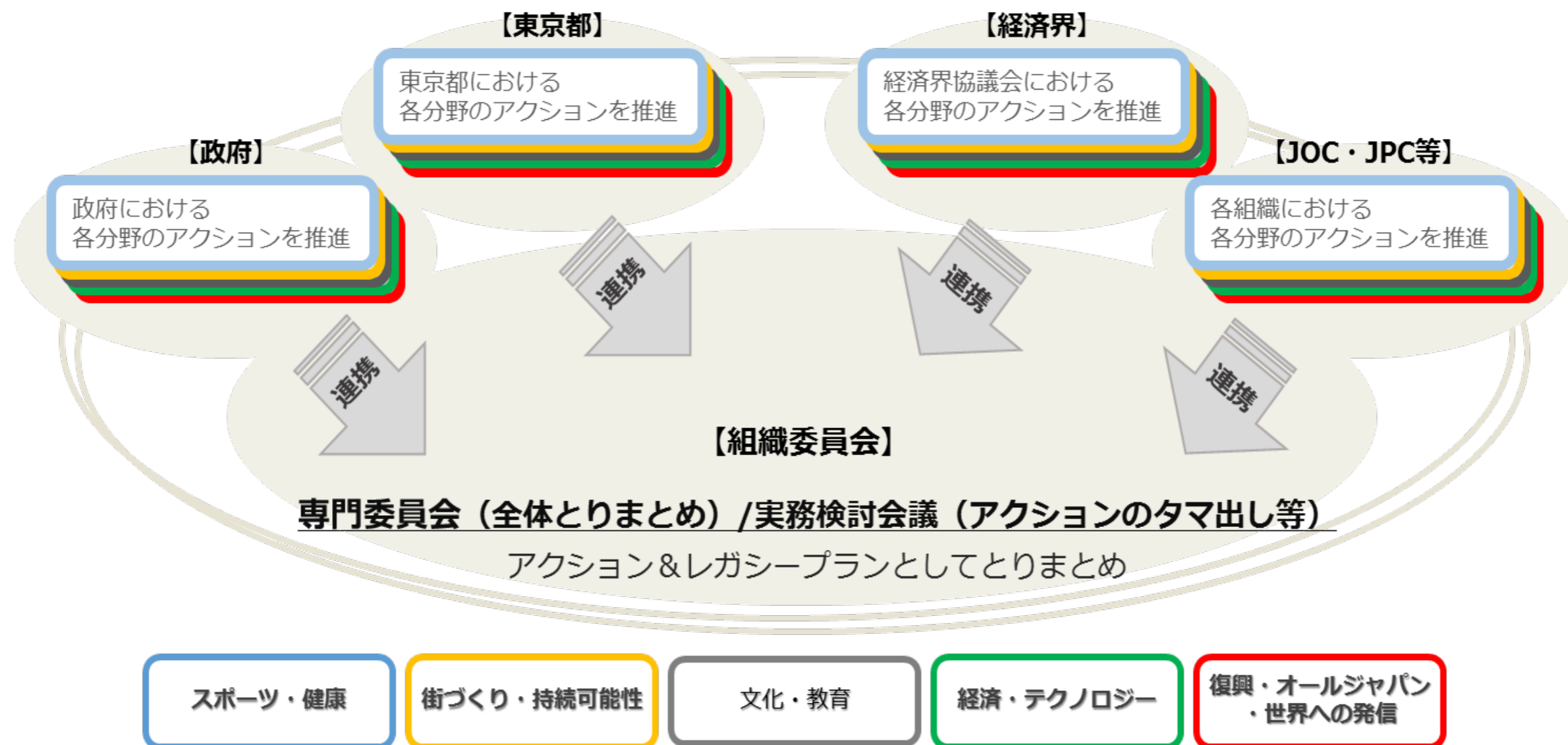
組織委員会における  
アクション&レガシープラン検討状況  
＜ICTに関わる検討テーマ＞

平成27年12月16日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

# アクション&レガシープランの5本の柱

- ✓ 「スポーツ・健康」「街づくり・持続可能性」「文化・教育」「経済・テクノロジー」「復興・オールジャパン・世界への発信」の5本の柱を立て、残すべきレガシーについて議論。
- ✓ 具体的検討にあたり、有識者等からなる専門委員会等を設置。  
(政府、東京都からも臨時委員（オブザーバー）として参画)



# 各柱の専門委員会とテーマ

## 1. スポーツ・健康（高橋尚子委員長 14年10月発足）

- テーマ：①誰もがスポーツをする・観る・支える社会の実現／②アスリートが活躍する社会の実現／③パラリンピックを契機とした共生社会の実現

## 2. 街づくり・持続可能性（小宮山宏委員長 15年6月発足）

- テーマ：①スポーツと会場エリア／②街づくり／③持続可能性

## 3. 文化・教育（宮田亮平委員長 15年5月発足）

- テーマ：①芸術／②メディア芸術／③伝統文化・伝統芸能／④初等中等教育／⑤高等教育（大学連携）

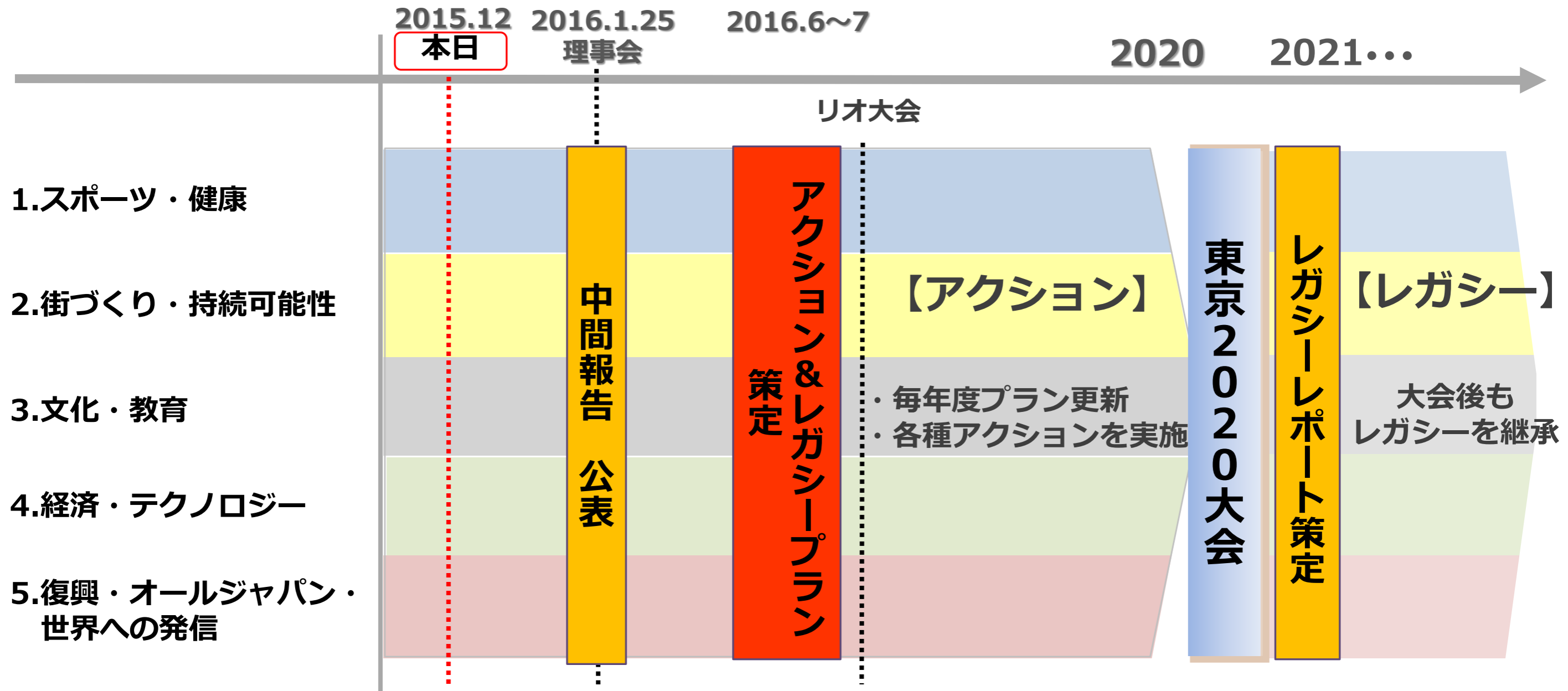
## 4. 経済・テクノロジー（大田弘子委員長 15年6月発足）

- テーマ：①経済／②テクノロジー

## 5. 復興・オールジャパン・世界への発信（日枝久委員長 14年10月発足）

- テーマ：①復興・オールジャパン／②世界への発信・外国人旅行者の受入

# スケジュール



# 特にICTに関わる検討テーマ（例）

## ① スポーツ・プレゼンテーションを進化させるためのODF\*活用

- ICTを活用した新しい計測データも含め、ODFで定義する競技データをいかに充実させるか、がスポーツ・プレゼンテーションを進化させるひとつのポイント。

## ② スポーツ振興のレガシーを目指したCRM\*\*基盤

- 大会運営をとおして蓄積された顧客データベースが、大会後も国内のスポーツ関係団体（ロンドン大会では英国の政府機関であるUK Sport）などに引き継がれ、スポーツ振興のためのレガシーとして活用されるには何が必要か。

## ③ 競技会場で整備すべきICT環境とレガシーとしての利活用

- 『史上もっともイノベーティブな大会』を目指すうえで、組織委員会としてスポーツ・プレゼンテーションの進化に対応したICT環境をどこまで整備すべきか、関係機関に要請すべきか。

\* ODF (Olympic Data Feed) : メディアや観客に提供する競技に関する情報を、統一的なデータ形式として規定するもの。

\*\* CRM (Customer Relationship Management) : 顧客関係管理